



JARA NEWS

August 2017, No. 114

from
Japan Automotive Recyclers Alliance
www.jara.co.jp

Published by JARA Corporation
Tokyo Head Office: Shirawa Bldg. 1-2-2-7F,
Nihombashi, Chuo-ku, Tokyo JAPAN 103-0027
Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690



JARAグループ、初の全国実務者合同例会 77人参加、本音で議論

リサイクル部品流通のJARAグループ（今井雄治会長）は23～24日の2日間、「全国実務者合同例会」を大阪市内のホテルコスモスクエア国際交流センターで開催した。同グループとして、実務者を対象とした例会を開くのは今回が初めてで、参加者は77人だった。

同例会は、昨年度まで北海道東北、関東、中部関西、中四国九州の4ブロックそれぞれで開いていた。一方で、各会員企業の世代交代などに伴って本音で議論する機会が減ってきたことから、全国規模に拡大することにより地域を超えた議論を交わし、ビジネスへの発展につながる可能性を期待。今回の全国例会につながった。

会の冒頭、川島準一郎副会長が「JARAグループとして初の全国実務者例会。学んだことを自社に持ち帰り、しっかりと情報を共有してほしい」と挨拶した。

スキャンツールの必要性をテーマにした勉強会では、現場での活用事例や自動車の電子化対応における必要性を説明。メーターパネルの機能検証にアクティブテストを利用する動画も公開した。品質管理部の渡邊寛樹部長は「スキャンツールを活用することで、リサイクル部品の品質向上やクレーム率の低下に効果がある」と話した。

同グループでは、スキャンツールを活用する会員の売り上げ伸長が顕著になっていると分析している。取引の間口拡大を図るためにスキャンツールの活用を促進し、グループ内でのリサイクル部品の品質統一を図る方針だ。

（日刊自動車新聞6月29日）

JARAグループ、初のウインチ運転講習 HV用い注意点確認

JARAグループ（今井雄治会長）は6月中

旬、三重パーツ（齊藤貢社長、三重県鈴鹿市）で「低圧電気取扱い・ウインチ（巻上げ機）運転特別教育講習」を初めて開催した。プロトリアス・ボデーリペア技術研修所の小川直紀氏が講師を務め13社36人が参加。車両引き取りや工場作業などにおけるウインチ作業教務に係わる講習を実施した。

初日は低圧電気講習を実施。参加者はハイブリッド車（HV）のサービスプラグの取り外しなどを体験した。2日目のウインチ講習では実車を積載車へ積み込む一連のプロセスにおける注意点を確認しながら実際に作業した。

同グループは今年度、業務に必要な労働安全衛生法に係わる講習会を実施している。今回の巻上げ機運転者の資格には、ウインチの重量に関して下限が設けられておらず、ウインチを使用した巻上げ作業を行う場合は、労働安全衛生法や労働安全衛生規則で運転者の特別講習の受講が義務付けられている。

JARAグループ全体で車両引取業務に携わる社員に受講を呼び掛けることで、会員企業のコン

プライアンス強化につなげていく。同講習会は各地域ブロックごとに順次開催していく計画だ。

（日刊自動車新聞7月6日）



人とくるまのテクノロジー展 2017名古屋、2050年代の展望でフォーラム

自動車技術会（会長＝松本宜之ホンダ専務取締役）は、「人とくるまのテクノロジー展2017名古屋」会期中の29日、「2050年代を見据えた社会交通システムおよび自動車用動力システムへの提言」と題したフォーラムを開催した。登壇者からは、「次世代モビリティは自動車メーカーだけでは語れない。エコシステム（生態系）のなかに通信会社やクラウドベンダーも一緒にいる」（ジャーナリストの川端由美氏）「自動車は電動化、小型化、低価格化、共有利用などで儲からなくなり、現行のビジネスモデルは成立しなくなる。拡大した新しい事業分野が必要になる」（トヨタ自動車OBの中田雅彦氏）など、大きな変化を予想する声が続出した。

■CO2削減への挑戦

最初に講演したトヨタ自動車の杉山雅則常務理事（東富士研究所長）は「残念なことにアメリカは（気温上昇を摂氏2度以内に抑えることで合意した）COP21（パリ協定）から離脱を表明したが、世界的にこの流れは変わらない」と述べ、CO2削減へのチャレンジを加速する姿勢を示した。

杉山氏は自動車のWtW（ウェル・トゥ・ホイール＝油井から車輪まで）のCO2排出削減に向けた技術的な課題として、再生エネルギー由来の発電、水素製造・貯蔵の確立、PHV、EV、FCVの普及、内燃機関車、HVの効率向上、CO2回収と燃料への再利用などを挙げ「トヨタ単

独ではできない。政府、学界、すべての産業界が連携する必要がある」と訴えた。

■車の“生態系”に変化

川端氏は、自動車メーカー、サプライヤー、エネルギー企業など既存の主体と、クラウド、AI、ソフトウェアベンダー、サービサー、通信など新たな主体が混在する状況が次世代モビリティのエコシステムだと指摘。中田氏は国際エネルギー機関（IEA）が昨年の予測で、19年頃から石油生産が減少に転じるとの見通しを打ち出したことに着目し、日本は低エネルギー・低成長の時代に入るとの見立てから、効率化技術と節約型の生活スタイルを組み合わせた「新しい国のかたち」づくりを目指すべきと述べた。

パネルディスカッションの一つ目のテーマは「『地球温暖化とエネルギーセキュリティ』『スマートシティー』『EVへの急激な方向転換』に、欧米は『全体像+将来像+技術開発』で取り組んでいる。日本は世界から取り残されているのでは？」

■コンセプトなき日本

早稲田大学の大型泰弘特任研究教授は「スマートシティーは日本でも中国でもモデル都市はできても全体に広がるとは思えない。EVも、フォルクスワーゲンのディーゼル問題の反動や、ドイツが電池で立ち遅れている焦りがあるのでは」とコメント。川端氏は「欧米が進んで見えるが、日本は全体像もないのに技術単体や人々のモラルがすごい。全体像を決めて足りない部分に集中すればできる」と語った。本田技術研究所の前田義男氏は「欧州は大きなコンセプトで動く。日本は官庁は縦割りで産業界はどこでも競争。俯瞰して取り組むべき」と強調した。

産官学連携への提言では日野自動車の通阪久貴氏が「個々の技術はあるのにシステム全体が弱い、ということを決めるには、大中小一つずつの都市で実証実験を行うといったことも必要ではないか」と話した。（日刊自動車新聞7月3日）

経産省、最短3カ月で 認証 クルマ関連も 対象、J I S法改正案

経済産業省は21日、工業標準化法（J I S法）の改正案をまとめた。現行では約1年かかる認証期間を最短3カ月に短縮する。対象も鉱工業製品に加え、シェアリングエコノミーなどのサービス分野、製造方法など行動規範に関するマネジメント分野などに広げる。来年の通常国会にJ I S法改正案として提出、法律名も「産業標準化法」に改める。

国際標準化機構（I S O）ではすでにサービスやマネジメントの分野で標準化が採用されており、J I Sもこの流れを受け、対象範囲を広げる。具体的にはシェアリングエコノミーのほか、自動運転システム、介護や保育、プライダル産業、郵便、気象・防災、観光や小口保冷配送などを想定している。

改正案では、日本規格協会といった民間団体などもJ I Sを審議できるようにする。多くの申請が予想されるサービス分野で迅速な審査が可能となる。このほか、国際標準機関との連携も強化する。国際標準

を活用した規制の導入支援や技術協力、現地における標準化活動の参加を通じ、国際標準化に向けた連携体制を構築する考えだ。

（日刊自動車新聞7月22日）

国土交通省、保安基準に 「燃費」追加

国土交通省は、道路運送車両法に基づく保安基準に燃費を追加する検討に入った。自動車メーカーなどによる燃費不正の是正を迅速化するのが狙いだ。5月に成立した改正道路運送車両法により、不正な手段で車両や装置に関する型式指定を受けた場合、国土交通大臣が型式指定を取り消せるようになった。保安基準で具体的な規定を示し、自動車メーカーに順守を義務付ける。継続検査（車検）には影響しない見通し。

具体的な規定の内容を詰め、今秋から遅くとも年末までには省令改正に踏み切る。国交省はこれまでも自動車型式指定規則や通達などを改め、審査工数を増やしたり、不正の疑いが見つかった場合には審査を一時的に止めて検証できるようにした。改正



燃費・排ガス測定風景（デモ）

車両法では虚偽報告などに対する罰則も罰金30万円から2億円に引き上げられている。車両法に基づく保安基準は車体やエンジン（原動機）、ブレーキなどの基準を定めており、メーカーや使用者には適合義務がある。保安基準に燃費に関する規定を追加することで、適法性の線引きが明確になる。

三菱自動車やスズキによる燃費不正時には、道路運送車両法に明確な規定がなく、国交省は同法に基づく処分を見送った。今後は燃費に関する不正やミスは保安基準不適合状態と見なされ、型式指定の取り消しに加え、リコール（回収・無償修理）命令も出せることになる。

（日刊自動車新聞7月14日）

水素供給コスト半減 トヨタが目標 実証実験通じ検証

トヨタ自動車の友山茂樹専務役員は12日、将来の水素供給コスト（製造・圧縮・デリバリー）について、現状比で半減をターゲットとすることを明らかにした。現在、水素製造設備には有資格者3人の常駐

や、防護壁の設置など、さまざまな規制がかけられている。一品モノで高コストな設備も多い。さらに、燃料電池車など、水素の需要も限られている。こうした規制や規模の小ささに由来するコスト削減の余地を勘案すると、コスト半減が水素エネルギー普及段階の目安になるという。

現在、水素は岩谷産業などが1立方メートル100円で販売し、クラウンハイブリッドのガソリン代並みに抑えているが、コスト対比では赤字の状態。コスト半減によって、黒字での水素供給に道筋をつけた考えだ。

◆FCフォークリフト実証事業 風力発電で水素製造

トヨタ自動車、豊田自動織機、神奈川県などは12日、風力発電で製造した水素を燃料電池（FC）フォークリフトに供給する実証事業の本格運用を13日に開始すると発表した。横浜市風力発電所（ハマウイング、横浜市神奈川区）の敷地内に、風力発電の再生可能エネルギーを利用し低炭素の水素をつくる製造装置を設置。貯蔵・圧縮システムも備える。この水素を簡易水素充填車でジャストインタイム輸送し、横浜、川崎市内の青果市場や工場・倉庫のFCフォークリフトで使用する。水素サプライチェーンの構築により、通常の電動やガソリンフォークリフトの利用に比べ、80%以上のCO2削減が可能と試算している。共同会見でトヨタの友山茂樹専務役員は「将来的に事業として成長する目標を持ち、コストの視点をもって実証する」と述べた。

豊田自動織機製のFCフォークリフト

は、12台を導入し、横浜市中心卸売市場本場（青果部）、麒麟ビール横浜工場、ナカムラロジスティクス（かわさきファズ物流センター内）、ニチレイロジグループ東扇島物流センターの4カ所で運用する。水素は、それぞれの使用量をクラウドで管理し、ハイブリッド4トントラックベースの簡易水素充填車でジャストインタイム方式で小口配送する。

量産を見据えたコスト検証や、行政に対する規制緩和と要望のとりまとめを行う。

事業者には冒頭の3者のほか横浜市、川崎市、岩谷産業、東芝、トヨタタービンアンドシステム、日本環境技研が参画。2015年度の環境省委託事業「地域連携・低炭素水素技術実証事業」に採択され、18年度までの4カ年を予定している。

（日刊自動車新聞7月13日）

CO2削減数値（JARAシステム）

リユースパーツ使用によるCO2削減効果参考値
平成29年6月

2,505t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方に基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

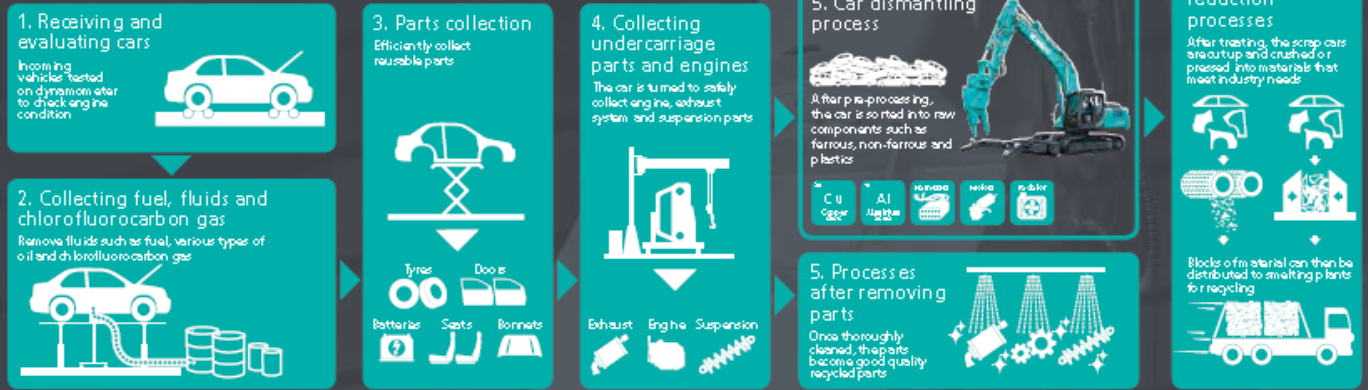


横浜の風力発電敷地内で行われた水素設備のテープカット式



Dismantling process flow chart

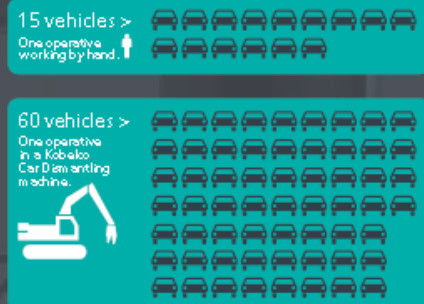
How the Car Dismantling machine works



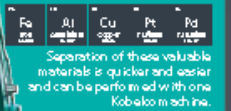
The Evolution of car dismantling industry by Kobelco

Four times* the vehicle dismantling capability compared with hand dismantling.

*In one day (Kobelco test figure)



Improved recovery rate of rare earth metals



SK210D



SK210D



SK 135SRD



コベルコ建機株式会社
www.kobelco-kenki.co.jp/

For Japan

成都神鋼工程机械(集团)有限公司
www.kobelco-jianji.com/

For China

(주)삼정건설기계
www.samjung-kenki.co.kr/

For Korea

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
www.kobelco-usa.com/

For North America

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY AUSTRALIA PTY LTD
www.kobelco.com.au/

For Australia

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
www.kobelco-europe.com/

For Europe

FAIR FRIEND ENTERPRISE CO.,LTD.
www.ffg-tw.com/

For Taiwan